

事例 9: 教員研修(小・中学校 1)

【多摩森林科学園年報 36 号:P47-48】

多摩森林科学園・東京都産業労働局森林課 教員研修
「森林教育のための教員研修」開催報告

2013 年 8 月 21 日(水)実施

多摩森林科学園のフィールドを活用した学校教育における森林教育や森林の学習活動の支援として、「学習入園」制度を設けている他、サイエンス・キャンプ「フォレスターに挑戦！」(2012 年)などにより、新たな教育プログラムの開発などを行っています。今年度は、多摩森林科学園についてより学校の先生方に知って頂き、未来を担う子ども達への森林教育の推進に貢献することを目的に、学校教員向けの研修を企画しました。森林教育に関する教員研修としては、東京都産業労働局森林課が、主に小学校社会科向けに林業への理解を促すための「先生のための森林環境教育セミナー」(1泊2日、奥多摩体験の森)を、1995 年から、林業体験活動(間伐)などを参加者 20 名での研修として実施しています。多摩森林科学園では実績のある東京都産業労働局森林課と連携し、教員研修の実施に取り組みました。研修では、内容や実施方法の特色化を図り、研修日程は 1 日、内容は、主に理科などでの森林への理解を深めるものとして、「森林教育のための教員研修」を行うこととしました。学校への広報、申込み受付は、東京都産業労働局森林課にご協力頂きました。

研修は 8 月 21 日(水)に、小、中、高等学校の先生 18 名の参加を得て行いました。研修内容は、多摩森林科学園のフィールドを活用した「野外での樹木観察」として、野外で樹木を観察するためのポイントを紹介した他、「森林を活用した環境教育」として、木とその材の利用方法を紹介した新展示「森のポスト」の紹介や子ども向けワークシート教材を使ったグループ活動、「展示館内での森林の学習活動」など、実際の学校利用を想定した体験活動を取り入れた研修を行いました。



屋外展示「森のポスト」を活用した森林教育

表 「森林教育のための教員研修」プログラム

時間	内 容
0.5 開講式	主催者紹介, 自己紹介
2.0 研修①	観察: 野外での樹木観察
1.0 研修②	講義, 観察: 森林を活用した森林教育
1.0 研修③	展示解説等: 室内での森林の学習活動
1.0 まとめ	グループディスカッション, 閉講式

事例 9

【多摩森林科学園年報 36 号:P47-48】

参加者へのアンケートでは、各研修の 5 段階評価で、4.1～4.6 と高い評価を頂きました。また、参加した先生方からは、「科学園の利用を考えたい」、「研修の内容を早速理科や社会、生活科などで活用したい」との感想を頂きました。

森林・林業への理解を深めるための学校教員向け研修は、森林環境教育の提唱(1999 年)や、学校教育における総合的な学習の時間の実施(2002 年～)などをきっかけに、都道府県などが実施してきています。これらの先進的な実践事例からは、課題として、学校教育現場での実施になかなか至らないことや、研修の継続性の問題などが指摘されています。こうした実践上の課題の解決に取り組むため、来年度も引き続き東京都産業労働局森林課と連携しながら、教員研修を企画・実施する予定です。

(参考文献)

- ・井上真理子・大石康彦(印刷中)学校教員向けの森林・林業への理解を目的とした研修の改善に向けた実践-東京都森林課と多摩森林科学園との連携を通じて-。関東森林研究 65(2)。
- ・井上真理子・大石康彦(2013)フォレスターに憧れる若者育成のための教育プログラム-高校生のサイエンス・キャンプ「フォレスターに挑戦！」実践報告-。森林技術 855:27-29



教員研修 開講式の様子(セミナールーム)



樹木園での研修 ガイドによる野外での樹木観察

(井上真理子・大石康彦)